

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれあいの杜Kids (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービスを運営しているので就学時期を挟んでも一人の利用児に関して長期の間、関わる事ができる	就学前から関われることで就学に必要な準備も利用児のペースに合わせて進めることができる。就業後も保護者や小学校と細かく引継ぎができる。職員の数にもよるが必要であれば保育所等訪問支援の活用も促している	保護者と就学先等へ情報提供を行い常に連携して支援をすすめる
2	午前中に事業所内で発達に関する研修や利用児の近況報告など情報交換を職員同士でする時間がもてる	業務時間内に研修している。シフト制で全員が参加することは難しい為、ミーティングや勉強会資料等はノートやグループLINEで情報を共有している	発達に関する勉強会では個々に調べてきたことを発表する形になっている。当事業所の事例にあてはめて今後の支援をどのようにしていくのがいいか勉強の内容に照らし合わせて検討するような取り組みも必要
3	心開く支援(職員も笑顔で、子どもたちも笑顔の支援室)	子どもたちが安心して心開く中で苦手とする気持ちの切り替えだったり、コミュニケーションの向上は得られると考えている。支援室での職員同士の会話や子どもへの声掛けのトーンは優しく安心感にあふれる空気が流れる支援室を意識している。	発達障害について理解を深め、常に子どもに寄り添う方法で支援をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方へ事故防止、緊急時の対応や感染症の対応など「知らない」「思い出せない」と答える方が多く周知不足を実感	マニュアルはそれぞれ作成しており、避難訓練や勉強会を開催しているが周知の機会が不足している。	防災の取り組みや緊急時の対応に関しては1年に1度、内容の確認と年度初めに保護者へ周知していく。感染症の発生が多くなる季節などには毎年お便り等の配布をしている。HPやインスタなども活用して発信の方法を考える
2	送迎の職員不足	ドライバーの人数が足りない	運転できる人とフロア待機の人の調整を検討する
3	専門職職員(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士) がない	採用の条件がマッチしない	採用条件の見直し、またハローワークをはじめ多方面への求人継続する。保育士・児童指導員などの支援を中心に療育を計画していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふれあいの杜Kids (放課後等デイサービス)

公表日 R7年3月1日

利用児童数 30

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			4	適切です	規定の職員配置をしています
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			1		勉強スペースを確保。パーテーション壁などを作り、気持ちを切り替えやすい環境を整備。バリアフリー化は完備。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	23					3ヶ月に1度、清掃業者による床清掃を実施している
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3				専門職 (OT,PT,ST)がいないが保育士、児童指導員等を筆頭に総合的な支援を展開している
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			3		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 (個別支援計画) が作成されていると思いますか。	21				2	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				3	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23					誰もが意見の言える雰囲気、チーム作りを心掛け職員からの多方向のプログラムを取り入れている
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5		3	15		長期休暇の際に交流できるよう活動の機会を設けたい
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			3		契約時に必ず重要事項説明書を読んで説明している
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21		2		十分に説明されています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			3		20	保護者に対しての支援・参加できる研修の機会を設けられるよう日程調整が課題
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21		2			連絡帳等で活動状況を連絡して頂いているのでよく理解できています LINEなどのツールも使い写真などで様子を伝達したり、送迎時にも必ず当日の様子を伝えている
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					年に2回、日程をすり合わせ面談の時間を作っている
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	9	5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	5				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			3		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23					インスタ、FB、HPで活動内容を発信している。個々の活動はLINEのツールを使い写真等送って様子を伝えている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	7				職員には年に数回、勉強会など開催して周知しているが保護者への周知はプリント配布のみ
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	7				年に2回、避難訓練を実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			5		緊急の連絡は保護者の携帯電話の方に速やかに一報を入れている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					子ども自身、心開けるような支援を心掛けている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1		1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		R7年3月1日	
ふれあいの杜Kids (放課後等デイサービス)					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	○		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	○	・規定の職員配置をしています。職員同士の声掛けで安心、安全の見守りをしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリー化はできています。パーテーション壁がある為、車椅子利用の児童の通行で手を挟まないよう注意している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○	○		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		・実施していない。第三者による外部評価をこの先、取り入れることは課題
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPに公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	○		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	○		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○	・職員で話し合い決めている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に合わせた活動などを提案。また子どもの状態に合わせた活動を考えながら対応している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状況や課題に応じて個別、集団を組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・連絡帳の記録や支援内容を個別で記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回のモニタリングや保護者との面談を実施している。保護者からのニーズを何うようにしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・偏った支援にならないよう複数組み合わせさせて支援をしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			・自己決定を優先しているため待つ療育の場面が多い
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者と計画相談事業者、子ども支援課の方などを交えて会議をする時間を作り共通理解のもと連携した支援を心掛けている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・子どもの下校時刻については保護者からの連絡に従っている。急な変更などが発生した場合は、学校へ連絡したり調整している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・助言や研修を受ける機会を設けたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・交流できる時間を作るようにしたいが各施設との調整が難しい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・交流できる時間を作るようにしたいが各施設との調整が難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○		・7市町村施策部会に参加しているが時間の調整が難しい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に書面と共に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			・半年ごとの面談やアンケートにより保護者の意思の確認をしている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援内容を説明の上、同意の署名を頂いている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの悩みや相談には随時、適切に応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機材を設ける等の支援をしているか。	○	○	・年に1度は保護者会を設け、保護者同士の交流を図っている	・開催の曜日が偏り気味なので違う曜日設定も考慮する。開催時間についてもできるだけ適切な時間を整える
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・SNS等の発信や請求事務でのFAX送信など個人と確定されないように配慮している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードなど視覚化ツールを活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・招待できるような企画を立案していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	・策定している。事務所にマニュアルを置き誰もが見ることができるようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・指定月に各項目の勉強会と訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に必ず確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者より指示のある子どもに関しては職員に周知し、おやつ提供時など机を別にじゅびするなど配慮している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・記録が発生した場合は、回覧し職員に共有と再発防止にむけた対策を必ずしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修会を開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・やむを得ず行う場合は職員と話し合い、事前に保護者の説明と理解を得ている		